

第5回学校運営協議会報告 ＝委員による学校教育活動の評価＝

第5回の協議会が1月20日に開催され、今年度の南地区小・中学校における教育活動の評価が行われました。各委員による授業参観や地域での児童・生徒の様子の観察、児童・生徒や保護者、教職員への教育活動に関するアンケートの集計結果等の資料に基づいて、熱心に話し合いが進められました。

その一端となりますが、下記に南地区小・中学校に共通する内容についてご報告いたします。

学 習

◎「授業が分かりやすい」と感じている児童・生徒および保護者が大半であり、大変好ましい。

☞今後も児童・生徒一人ひとりに目を配り、心を寄せて指導していただきたい。

▲少数ではあるが、「授業があまり分かりやすすくない」と感じる児童・生徒がいる。

☞少人数教育のよさを生かし、見逃すことなくよりきめ細やかな支援・指導を進めてほしい。

▲家庭学習や読書の習慣化に課題が見られる。

☞宿題の内容の検討、自主学習の丁寧な点検と指導、読書意欲の喚起など継続的に進めてほしい。(PTAと協力)



礼儀・おもいやり

◎南地区の児童・生徒全体として、あいさつを含めた礼儀正しい行動がよくできている。

☞今後も部活動を含めた放課後の活動や児童会・生徒会等の具体的な場面を通して継続的な指導を積み重ねてほしい。

☞地域全体で、大人が児童・生徒のよきモデルであることを自覚した行動に努めたい。

健康・運動

◎バランスの良い食事について、小学生の意識が高まりつつある。

☞中学生になっても継続して実践できるよう小・中連携して食育を進めてほしい。

▲スマートフォンやタブレット等を使用したネットやゲームに多くの時間を費やす児童・生徒の割合が高く、健康面でも支障がでないか心配である。

☞身近な大人がネットに依存してるような生活習慣はないか振り返り、適正な使用について児童・生徒のモデルとなっていきたい。

☞次年度の重点課題ととらえ、PTAとともに対応を考えていく必要がある。



- 学校運営協議会としても重点的に課題解決策を探っていく。

学校運営全般

◎「学校が楽しい」と感じる児童・生徒が多く、円滑な学校運営が行われている様子が伺える。

◎保護者との連携についてもきめ細やかな配慮が行われていて先生方の熱意が感じられる。

- 今後も学校・家庭・地域が連携して児童・生徒の良い面をさらに伸ばしていけるよう努めたい。
- 先生方には、小学校統合後も南地区のよさを生かした学校運営にご尽力いただきたい。



今年度もコロナ禍による多難な日々が続きましたが、各校の先生方には南地区の児童・生徒のために各種活動を工夫しながら熱心にご指導いただきました。本当にありがとうございました。

地域で支える小中連携体験教室

南地区では、小学校6年生から中学校2年生がグループに分かれて地域の方々から学ぶ授業を行っています。これは、十数年前から継続されている本地区ならではの特色ある取り組みです。

地域のよさや地域にいらっしゃる方々のすばらしさを学びとることは、郷土愛を高めたり、将来の夢を描いたりするうえで大切な役割を果たします。また、小学生と中学生の交流が図られることも大きなメリットとなっています。

今年度は11月28日、29日の2日間にわたってこの体験学習が行われました。

「座禅」「茶の湯」「大正琴」「地元の昔話」「インドヨーガ」「郷土料理」「小物づくり」の7つのグループに分かれた小・中学生は、それぞれ貴重な時間を過ごすことができました。

講師となってくださった皆様、本当にありがとうございました。今後も、本活動につきまして地域の皆様の温かいご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



<座禅>



<茶の湯>



<小物づくり>

*写真提供：船引南中学校

編集・発行：船引南地区学校運営協議会

会長 遠藤さとみ、副会長 三浦友貴、委員 橋本祐作、委員 松崎勝弘、委員 吉田和彦
委員 佐藤洋子、委員 佐藤幸子、委員 栗原義昌、委員 根本君江

委員 鈴木敏夫(芦沢小校長)、委員 平野美和(南小校長)、委員 高田秀人(南中校長)